

平成31年度 産学接続コースの基本情報について

1 コースの分類

分 類 名	プロライセンスコース
-------	------------

※①プロ育成教育コース・専門教育コース、②実践教育制度併設コース、③プロライセンスコースの3類型から選択。

【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

2 学 科 概 要

専 修 学 校 名	日本メディカル福祉専門学校	分 野 区 分	医療
課 程 名	医療専門課程	修 業 年 限	3
学 科 名	臨床工学科	学 科 定 員 数	120名
学 科 開 設 年 月 日	平成元年 4月 1日	学 科 実 員 数	62名
コ ー ス 設 置 年 月 日	平成元年 4月 1日	推 奨 年 度	平成31年度
当該学科の教育目標	医療国家資格である「臨床工学技士」の資格取得を目指すとともに専門技術を習得し、かつ医療人としてふさわしい人間性を持った人材を育成することを目的とする		
就職を目指す職業	臨床工学技士		
当該学科に対する業界のニーズ	業界における人材の確保		

3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成30年度実施内容

提 携 企 業 名 (業 界 名 等)	① 特定医療法人 仁真会 ②大正くすのきクリニック			
提 携 企 業 の 具 体 的 ニ ー ズ	① 病院で働く臨床工学技士の現場に必要な知識の習得と病院見学および透析装置のメンテナンス実習 ② 人工透析治療における様々な患者対応方法の習得			
コ ー ス の 目 標	病院やクリニックで働く臨床工学技士の現場に必要な知識の習得			
企業等との提携内容や 実 習 内 容 ※両者の役割分担や共 同作業の内容など	① 血液浄化業務での臨床工学技士の現場に必要な知識の習得と病院見学および人工透析装置のメンテナンス実習 ② 血液浄化業務の中で人工透析治療における様々な患者さんに対応するための接し方や声かけなどの方法を実習にて習得する。			
提 携 契 約 期 間	平成30年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日			
現 場 実 習 期 間	平成30年 9月 1日~平成 31年 1月31日 (年)× 3回 (12時間相当)			
コース受講生の募集 及び実習先の選定方法	臨床工学科 2年生 3年生 全員			
履 修 認 定	履 修 認 定 時 間 / 総 授 業 時 間	賃 金 支 払	雇 用 契 約	
有	46時間/2940時間	無	無	
無 料 職 業 紹 介 届 出	実習に係る保険の種類	企業評価の有無	最賃との関係	その他費用負担
無	看護保健 Will2	有	充足・非充足	無
評 価 方 法	学 校	講義内容については試験、見学と実習についてはレポート提出で成績評価、単位認定を行う		
	企 業	実習場による評価(A<B<C)3段階評価		
学 生 へ の 支 援 ・ 配 慮 事 項	学校: 見学および実習の際は学校担当者が立ち会う 企業: 講義の実施と適時実習状況についてアドバイスを行う			

※予定又は見込みの場合は()書きで記載すること。

※提携教育時数が学年ごとに異なる場合には各学年ごとに記載すること。

4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策等(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策と見込まれる効果(自由記述)

【対策】臨床工学科同窓会組織により、OBからのアドバイスをうけられるような体制をとっている。

【効果】現在のところ、早期離職についてはかなり少ない

※在校生又は卒業生に対しての実事例について、目的・効果と具体的内容を記載すること。

5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 29 年度(実績)	平成 30 年度(見込)
a. 学科修了者数	19名	25名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	19名	25名
c. 「b」のうち、就職希望者数	13名	24名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	0名	0名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	13名	24名
f. 「b」のうち、進学者数	0名	1名
イ. 主な就職先、業界等	医療法人蒼龍会井上病院、社会福祉法人大阪暁明館大阪暁明館病院、医療法人健全会三康病院、医療法人相馬病院、医療法人明生会、社会福祉法人京都社会福祉事業財団京都桂病院、医療法人平和会など 臨床工学技士として病院業界や医療機器メーカー	

6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 4名(中退率 6.3%)
b. 平成29年4月 1日在学者 64名(平成29年4月入学者を含む)
c. 平成30年3月31日在学者 60名(平成30年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
進路変更、経済的理由、死亡
ウ. 中退防止のための取組
担任による面談、保護者との電話連絡、3者面談、家庭訪問、補習 など

7 学校関係者評価の実施・公表

・学校関係者評価結果の公表先 URL: http://rinsho.nmf.ac.jp/hyoka/pdf/2018kankeisya_hyouka.pdf

■大阪発「産学接続コース」とは

企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。

この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。

【イメージ図】



○大阪発「産学接続コース」の要件

1. 専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2. 企業ニーズに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3. 企業における現場研修の場が提供していること。
4. 労働法規などの法令を遵守していること。
5. 専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6. 卒業生の早期離職防止のための対策を講じていること。
7. 生徒等に対して進路選択に際して有益な情報を提供していること。
8. 学校関係者評価を行い、その結果を公表していること。